

事業番号	13 01 02	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水道事業（末端給水事業）		部局	企業局	課・室	水道事業課
			実施期間	S38～	E-mail	kigyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）						
8つの重点目標	該当なし					
総合的に展開する重点政策	2-5 地域に根差した産業の振興		4-1 県土の強靱化			
	4-5 地球環境への貢献		6-1 個性豊かな地域づくりの推進			



1 事業の概要

事業の現状・目指す姿（予算編成時）	【現 状】	給水エリア（長野市・上田市・千曲市の一部と坂城町）における将来給水人口や水需要が減少する見込みの中、施設・管路の大量更新期における投資額の増大が見込まれている。このため、経営の安定を確保しつつ、老朽化対策を推進するとともに、大規模災害に備えた、施設・管路の計画的な耐震化が必要。また、将来の水道事業の広域化を見据え、地域との共同・連携、培ってきた技術力を活用した地域貢献が求められる。				
	【目指す姿】	『安全・安心、安定的な水道水の供給体制の礎を築く』				
	【実施内容】	<ul style="list-style-type: none"> 経営の健全化に取り組みつつ、安全・安心に加え、災害にもしっかり対応する安定した水道を、将来にわたり運営 利用者に対するサービスの迅速な提供と充実に努めつつ、施設更新の優先順位付けによる投資額平準化を行い、水道料金収入と投資財源との均衡を図る。 地域における、よりよい水道事業の礎を築くため、将来の広域化を見据え、市町との共同・連携を進める。 				
		・老朽化対策、耐震化、有収率向上対策、「安心の蛇口」の整備、市町村支援等の地域貢献など。				

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]								区分(単位:千円)		R1年度	R2年度			
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業コスト	前年度繰越	681,956	802,306				
1	経常収支比率 (%)	114.5	114.2	↓	115.3	↑			事業コスト	予算額	7,567,918	7,516,768		
2	損 益 (千円)	491,144	491,756	↑	514,419	↑							8,249,874	8,319,074
3	有 収 率 (%)	89.1	86.5	↓	86.7	↑								
4	参考:基幹施設の耐震化完了箇所(累計)	14	16	↑	16	→					決算額(B)	6,917,176	6,774,268	
5	参考:基幹施設(浄水施設)の耐震化率(%)	50.0	100.0	↑	100.0	→								職員数(人)
6	基幹管路の耐震適合率(%)	88.0	92.8	↑	95.1	↑					93.7	達成		
7	重要給水施設に至る管路の耐震化ルート数(累計)	28	28	→	29	↑							29	達成
8	「安心の蛇口」の整備数(箇所、累計)	7	9	↑	12	↑					12	達成		

成果指標設定理由	<p>「長野県公営企業経営戦略」(平成28年2月策定)に基づく指標</p> <p>1・2 財政計画に基づき経常収支比率100%以上を維持し利益を確保</p> <p>3 経営安定のための有収率(配水量に対し料金収入の対象となった水量)の向上</p> <p>4・5・6・7 投資計画に基づく耐震化の推進</p> <p>8 応急給水拠点「安心の蛇口」の整備(熊本地震の状況等を踏まえ、令和7年度までの整備目標11か所→20か所に倍増)</p>
----------	--

達成状況の分析	<ul style="list-style-type: none"> 経常収支比率(経常収益の経常費用に対する比率)及び損益は、前年度に比べ費用が減少するとともに料金収入も増加した(給水戸数の増等による)ため、目標を達成した。 有収率については、その向上に向け、漏水箇所の迅速な把握・修繕や老朽管の解消等に努めるとともに、令和2年度は災害に伴う被災者への水道料金減免のような有収率引き下げ要因がなかったことにより、目標には達しなかったものの前年度を上回った。3年度も引き続き、高感度音圧センサー漏水調査機器による効率的な漏水箇所の発見や老朽管の布設替え等に取り組んでいく。 基幹施設の耐震化、基幹管路及び重要給水施設に至る管路の耐震適合率は、計画どおり工事を実施し、目標を達成した。 「安心の蛇口」については、令和2年度に新たに3箇所整備し、目標を達成した。
---------	---

主な取組	<p>✓ 老朽化対策・耐震化の推進による経営の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了時期を前倒し(2025年度→2024年度)した基幹管路耐震化を継続して推進 令和元年東日本台風等を受け、浄水場やポンプ施設等への豪雨(浸水)対策を開始 老朽化対策の確実な推進・水道施設等のダウンサイジング検討 	 <p>水道管の耐震化工事</p>	
	<p>✓ 地域貢献・地域との共存・共栄</p> <ul style="list-style-type: none"> 漏水調査機器の貸出及び技術支援による市町村有収率向上支援、市町村等水道事業者相談窓口の運営、実務研修会の開催等による市町村支援 「長野県水道事業広域連携推進協議会」(令和2年10月設置) 		 <p>「安心の蛇口」(南長野運動公園)</p>
	<p>✓ 安全・安心の確保に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 県営水道(末端)災害時受援体制の整備 令和元年東日本台風等を受け、浄水場やポンプ施設等への豪雨(浸水)対策を開始(再掲) 「安心の蛇口」の整備(3か所) 		

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>給水収益の増加が難しい状況の下、投資額の平準化等により経営の健全化に留意しつつ、水道施設の老朽化対策及び耐震化、危機管理対策等に引き続き計画的に取り組むことが必要。</p> <p>また、水道の基盤強化を図るため、水道法改正を踏まえて令和2年10月に設置された「長野県水道事業広域連携推進協議会」等における取組等を通じ、広域連携の推進等を図っていく必要がある。</p>	<p>令和3年3月に改定した「長野県公営企業経営戦略」の着実な推進を図るほか、「長野県水道事業広域連携推進協議会」等を通じて県内市町村等と連携し、持続可能な経営に向けた広域化・広域連携策や今後の水道のあり方等について引き続き検討を進めていく。</p>